

INTERVIEW

TAAサロン

あの人にきく



サッポロビール(株)
コミュニケーション開発部 メディア統括グループリーダー

横井 仁和さん

1974年生まれ。愛知県出身。1998年サッポロビール株式会社に入社。名古屋支社、営業企画部に配属。2000年9月、名古屋支社、名古屋支店。2010年3月より首都圏本部外食営業統括部、第1営業部。2014年3月より本社ブランド戦略部、宣伝室に配属。2018年3月、同宣伝室長。2020年3月、本社コミュニケーション開発部メディア統括グループリーダー。サーフィンが趣味として続けているが、子供ができてからは、主に子供と過ごすのがオフの日のリフレッシュになっている。

東京 広告 協会報

2021
VOL.
122

TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION (TAA)

発行 公益社団法人東京広告協会
東京都中央区銀座7丁目4番17号 電通銀座ビル7階
TEL.03(3569)3566 FAX.03(3572)5733
E-mail info@tokyo-ad.or.jp

<http://www.tokyo-ad.or.jp>

たすきをつなぐDNAで長く深く愛されるブランドを開拓したい。

サーフィンに没頭した学生時代

……学生時代はプロサーファーを目指されていたそうですね。ご入社までの経緯をお話いただけますか。

私は生まれも育ちも名古屋で、地元には昭和6年創業の「浩養園」というサッポロビール旧名古屋工場のビール園があります。小さい頃から親に連れられてよくそちらへ行っていたこともあって、サッポロビールはとて親しみのあるビールメーカーでした。ただ、幼い頃から水泳に親しみ、高校時代にはサーフィンの魅力にとりつかれ、「これで生きていくんだ」と、一気にのめり込んでいきました。大学生の時、プロになるための環境を求めて、約1年半、休学してオーストラリア、カリフォルニアでサーフィンに打ち込みました。しかし、海外のトッププロがたくさん集う環境に飛び込むと、やはりレベルの違いは否めませんでした。もしプロになれたとしても、それですと食べていくのは難しいだろうと思うに至り、帰国したのが3月31日。翌4月1日にスーツを作りに行き、大学4年の春から慌てて就職活動を始めることになりました。

どんな会社に行きたいのかを考えて思い出したのが、海外で生活をしている時に身近にあった日本車や食糧品など、メイド・イン・ジャパンのものでした。広く世界で親しまれるものを作っているメーカーがいいなと思い、幼い頃から馴染みのあったサッポロビールも受けました。それで、内定をいただいたのが7月7日だったのです。七夕の日に星の会社から内定をもらったということで、勝手に運命を感じて(笑)、入社しました。

最初の配属は名古屋支社の営業企画部。エリアのマーケティングの部署で、輸入ビール、そして業務用、いわゆる飲食店さんへの商材のマーケティングを担当し、企画を立てる仕事でした。2年半後には営業に異動となり、そこから14年間、営業職が続きました。

経営者たちの生きざまに 社会人の真髓を学ぶ

……営業職の頃のお仕事に関して、印象深いエピソードなど、どんなことがありますか？

営業に出るようになって数年経った頃に、外食

チェーンの新規開拓部署が作られ、そこに配属になりました。新しい部署という聞こえはいいのですが、担当はわずか2名。全くゼロからのスタートなので、電話が全く鳴らない日が何ヶ月も続きました。それまでの部署では担当しているお客様から次々と電話が来て、日々のやりとりがあったのが一転、何も無くシーンと静かになって、一気に寂しかったですね。そんな状況から一社一社、徐々にネットワークを広げていきました。

その時に会った外食チェーンの方々には、創業社長の方が多くいらっしゃいました。自ら起業して、自らの足で歩んできた経営者とのやりとりを通して、私は大いに刺激を受け、とても多くのことを学ばせていただきました。彼らの言葉や生きざま……たとえば、最初は絶対に無理だろうと思ったことでも、何故か実現させていく求心力や突破力みたいなものに驚かされ、感銘を受けることが、たびたびありました。とにかく次から次に手を打っていくようなところは、間近に見ていて圧倒されましたし、そういう有言実行みたいなものが多くの人を惹きつけているのだろうと痛感しました。この頃に学んだことが、今に至る私の社会人人生の基礎であり、非常に貴重な財産だと思っています。それまでの自分は営業でそれなりの成績を残していて、仕事に対して自分の力を過信していたようなところがあったので、あのままいくとおそらくダメな人間になっていたかもしれない。その意味で、ちゃんと社会人にしていただいた恩人ともいえますね。あの頃に出会った経営者の中には、今でも仲良くさせていただいている方もいます。

サッポロビールに受け継がれるDNA

……14年間の営業職を経て、2014年に宣伝のセクションに就かれましたね。

メーカーに就職した以上、一度はブランドに携わる仕事をしたいと思っていましたが、営業からいきなり宣伝というのは予想外だったので驚きましたし、正直、戸惑いもありました。最初にテレビ、交通広告、雑誌などを担当し、3年前にマネージャー職として全体の管理をするようになって、今に至っています。

宣伝の仕事を始めてから強く感じたことがありました。たとえば営業と宣伝では、関わる人たちや仕事の内容も違うわけですが、もしかしたらうちの会社で働く人たちに共通するDNAがあるのかもしれない、と。

それが箱根駅伝です。サッポロビールはテレビでの生中継が始まった1987年から箱根駅伝の協賛をしており、今年で36年間続いています。協賛を始めた理由は、仲間のために一生懸命に襷をつなぐ選手たちのひたむきな姿勢が、サッポロビールのものづくりの姿勢にも通ずると考えたからです。

一方、営業における飲食店さんへの樽生ビール販売の仕事では、たとえば他社の銘柄からうちのビールに切替るため歴代担当者から代々引き継ぎ、10年がかりで初めて銘柄を切替てもらった、ということもあります。そういうことを私たちは特に意識もせずに「襷を繋ぐ」と言っていました。そんな営業職を経て宣伝として箱根駅伝に関わる中で、初めて、箱根駅伝というものを通してサッポロビールにいるみんなの中の一つの間にか浸透していることがあるのかもしれないと思ったわけです。「襷をつなぐ」というのは営業も広告も、みんなが持っているDNAなのだなと感じました。箱根駅伝は、長年、関わり続けてきた我々だからこそできることもあると思いながら向き合っています。

……今後の取り組み、展望などお聞かせください。

サッポロビールは2020年から「誰かの、いちばん星であれ」という新ビジョンのもとすべての企業活動を行っています。徹底的にお客様を理解し、お客様に寄り添い、大切なひとりひとりに強く深く鋭く突き刺さるようなブランドづくりをしていきたいと思っています。また、約2年前から関わっている自分のミッションとしては、コミュニケーション開発部のメディア統括グループとして、もともと宣伝の部署が関わっていたペイドメディアと、デジタルマーケティングの部署が関わっていたオウンドメディア、アードメディア、この3つのメディア全てを統合した部署に体制を変更し、横断を入れて連携を図りながら一気通貫したコミュニケーションを設計していく、ということがあります。また、一度お客様になっていただいた方々と継続して長い関係を築いていくためにどのようなファン作りをしていくかということも重要です。どちらも言葉にするのは簡単ですが、実際はかなり難しいことだと思っています。しかし、グループリーダーとして、しばらくはこの二つを軸に頑張っていきたいと思っています。

(インタビュー・文 牧野容子)

活動報告

【第93回定時総会】開催

東京広告協会の第93回定時総会が2月24日午後3時30分より、東京會館にて開催された。

同定時総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、理事長、専務理事、常務理事、監事のみでの出席とし、正会員からは出席者へ委任を受ける形で執り行われた。定時総会の模様はオンラインでライブ配信された。

審議に先立ち大平明理事長は、「今、生活態様、コミュニケーション、購買行動、デジタル技術など、広告を巡る環境は劇的に変化しつつある。何が変わり何が残るのか、まだ分からないが、会員各社の皆様と知見を共有し、また学び合いながらポストコロナに向けて知恵を出し合っていきたい」と力強く語りかけた後、総会の開会を宣言した。

その後、長崎之保専務理事による進行のもと、大平理事長を議長に議事に入った。議題第1号に続いて、第2号(第1号議案)、第3号(第2号議案)、第4号(第3号議案)などが諮られ、いずれも原案通り委任出席者を含む出席会員全員一致で承認され、本総会は閉会となった。

続いて、臨時理事会をオンラインで開催し、理事長、副理事長、専務理事及び常務理事を選定(下段参照)。長崎前専務理事は顧問に就任した。

第40回「東京広告協会 白川 忍賞」の贈賞については、

同定時総会に先立ち、2月16日に味の素(株)応接室にて贈賞セレモニーが執り行われ、大平理事長から受賞者の伊藤雅俊氏(味の素(株)取締役会長、(公社)日本アドバタイザーズ協会理事長)へ盾と目録が贈られた(4頁参照)。



第93回定時総会

総会次第

- 挨拶 理事長 大平 明
- 議事録署名人選任
- 議題
 - 第1号 令和2年度事業報告の件
 - 第2号 令和2年度決算承認の件(第1号議案)
監査報告(小池 実監事)
 - 第3号 任期満了に伴う理事及び監事選任の件(第2号議案)
 - 第4号 「定款」一部変更の件(第3号議案)
 - 第5号 令和3年度事業計画の件
 - 第6号 令和3年度度収支予算の件

理事及び監事一覧(順不同・敬称略)

※令和3年2月24日現在

理事長 大平 明 大正製薬ホールディングス(株)
副理事長 石井 直 (株)電通グループ
専務理事 田中洋志 (公社)東京広告協会(新任)
常務理事
事務局長 中井良博 (公社)東京広告協会
理事 片上 崇 味の素(株)
大野知法 キリンビール(株)
水谷 徹 サントリーコミュニケーションズ(株)
小出 誠 資生堂ジャパン(株)
岩井信幸 第一三共ヘルスケア(株)
梅岡 久 大正製薬(株)
犬飼律子 (株)ツムラ
丸山哲朗 パナソニック(株)
関 邦彦 三菱電機(株)
金山達也 (株)朝日新聞社
廣田勝巳 (株)毎日新聞社

理事 安部順一 (株)読売新聞東京本社
平田喜裕 (株)日本経済新聞社
鈴木裕一 (株)産業経済新聞社
須江剛行 (株)中日新聞社東京本社
藤田基予 (株)小学館
浜島 聡 (株)テレビ朝日
小池 清 (株)ニッポン放送
伊谷以知郎 (株)電通(新任)
今泉智幸 (株)博報堂DYホールディングス
上田 周 (株)朝日広告社
中井規之 (株)ADKホールディングス
久保田和昌 カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)
新井 誠 凸版印刷(株)
監事 高梨史憲 (株)TBSテレビ
小池 実 (株)弘亜社

第40回(令和3年)「東京広告協会 白川 忍賞」

伊藤 雅俊 氏 味の素株式会社 取締役会長、公益社団法人日本アドバイザーズ協会 理事長

贈賞理由 味の素㈱代表取締役社長、代表取締役会長を歴任し、2016年からは、(公社)日本アドバイザーズ協会理事長として、デジタル広告の課題に対するアドバイザー宣言の発出、働き方改革につながる広告制作プロセスマネジメントハンドブックの制作、ダイバーシティ委員会創設による社会課題への取り組み強化など、広告主の立場から広告界に対してリーダーシップを発揮。業界の発展と健全化に多大な貢献をされた功績は贈賞に値する。

受賞の言葉 この度は、大変名誉ある白川忍賞受賞の栄を賜り、誠にありがとうございます。改めて推薦して頂いた方々、審査をして頂いた皆様に、心より御礼申し上げます。

2016年2月、サントリーホールディングス(株)会長の佐治信忠さんの後任を仰せつかり、日本アドバイザーズ協会の理事長に就任致しました。私自身、長くマーケティングの仕事をしてきましたので、何かお役に立てればと思い、お引き受けした次第です。

当時、広告業界では働き方が社会問題化し、世間を騒がせておりました。また、多くのグローバル企業が加盟する世界広告主連盟(WFA)より、急拡大するデジタル広告市場と共に増加する広告詐欺について、大規模な調査報告をもとにした、強い懸念が寄せられていました。

理事長就任時に、協会の運営方針として「広告は様々な関係者がかかわって出来上がる。広告主、広告会社、制作会社、メディアそれぞれは太いバリューチェーンで繋がった大切なパートナーだ。皆さんで幅広い対話をしてほしい」ということを申し上げました。協会の幹部メンバー

はこれをよく理解頂き、課題に対して真摯に取り組みを始め、現在に至っております。また協会加盟社の一体感が、広告業界全体との距離を縮めることに繋がり、これまでの成果に結びついていることを強く実感しています。

思えば、私の受賞理由である「デジタル広告の課題に対するアドバイザー宣言の発出」「働き方改革につながる広告制作プロセスマネジメントの立案とハンドブックの制作」「ダイバーシティ委員会の創設」などは、協会加盟社の皆さんに知恵を出して頂いたのは勿論のこと、関係する業界団体の皆様と共に考え、時間をかけて議論をし、創り上げたものです。

今回の受賞は、これらの成果に関わった全ての皆様のモノである、と考えています。改めて、これ迄関係されて来た皆様に御礼を申し上げます。

現在、我々は、社会のデジタル化の奔流の中で、デジタル広告は、広告詐欺、ブランドセーフティなど様々な問題に直面しています。また、グローバルな潮流であるダイバーシティ&インクルージョンについて、広告業界をはじめ多くの分野で、共に課題を抱えています。

これからも一歩一歩、業界の垣根を小さくし、距離を縮めながら、より良い社会の実現に向かって貢献していきたいと思えます。一層のご助力を、どうぞ宜しくお願い致します。



大平理事長(左)と伊藤氏

インフォメーション

1月度 理事会・委員会開催報告

1月15日(金) 業務委員会
1月18日(月) 広報委員会
1月19日(火) 法務政策委員会
1月22日(金) 総務委員会
1月29日(金) 定例理事会

4月度 理事会・委員会開催スケジュール

4月12日(月) 広報委員会
4月13日(火) 業務委員会
4月14日(水) 法務政策委員会
4月19日(月) 総務委員会
4月22日(木) 定例理事会